

# 海底地震計データによる 早期地震警報

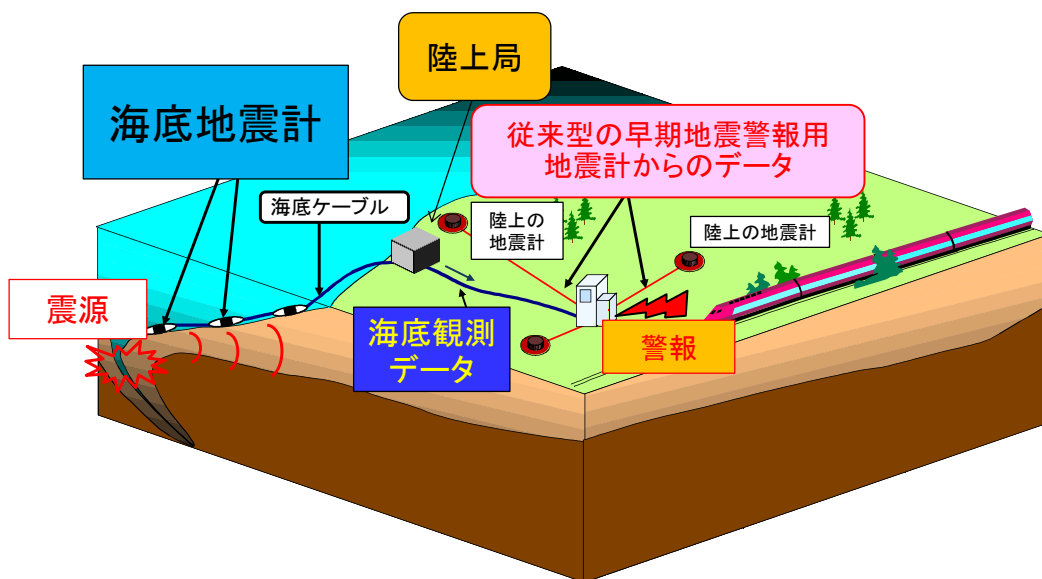
(Earthquake Early Warning  
Using Ocean Bottom Seismic Data for Railways)

## 【概要】

公的機関が運用する海底地震計データを活用し、地震発生時に列車の運行を制御します。本システムの活用により、発生の可能性が指摘されている東南海・南海トラフ地震など、海底下で発生する地震に対してより早い警報を発報することが可能となり、鉄道の地震に対する更なる安全性の向上が期待されます。

## 【特徴】

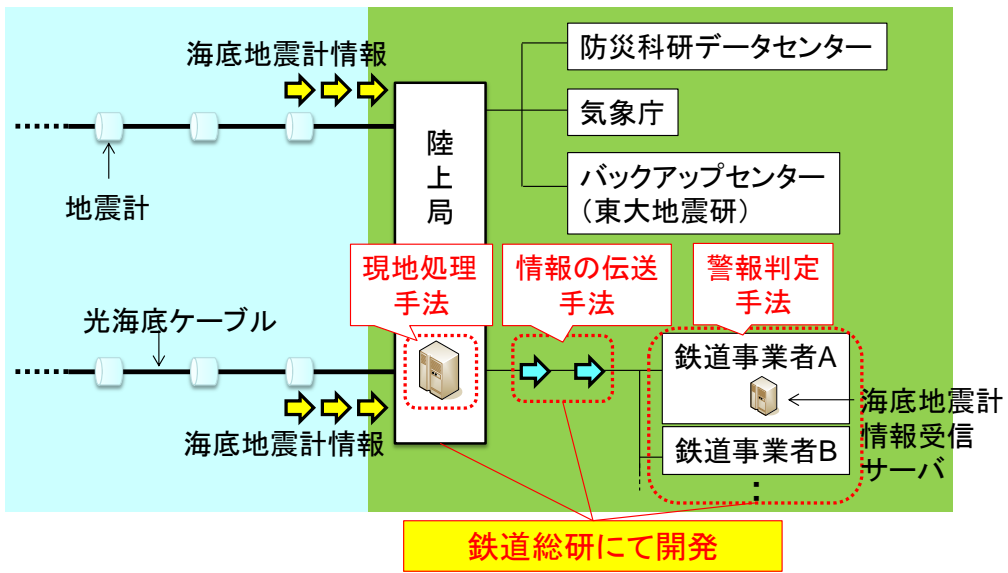
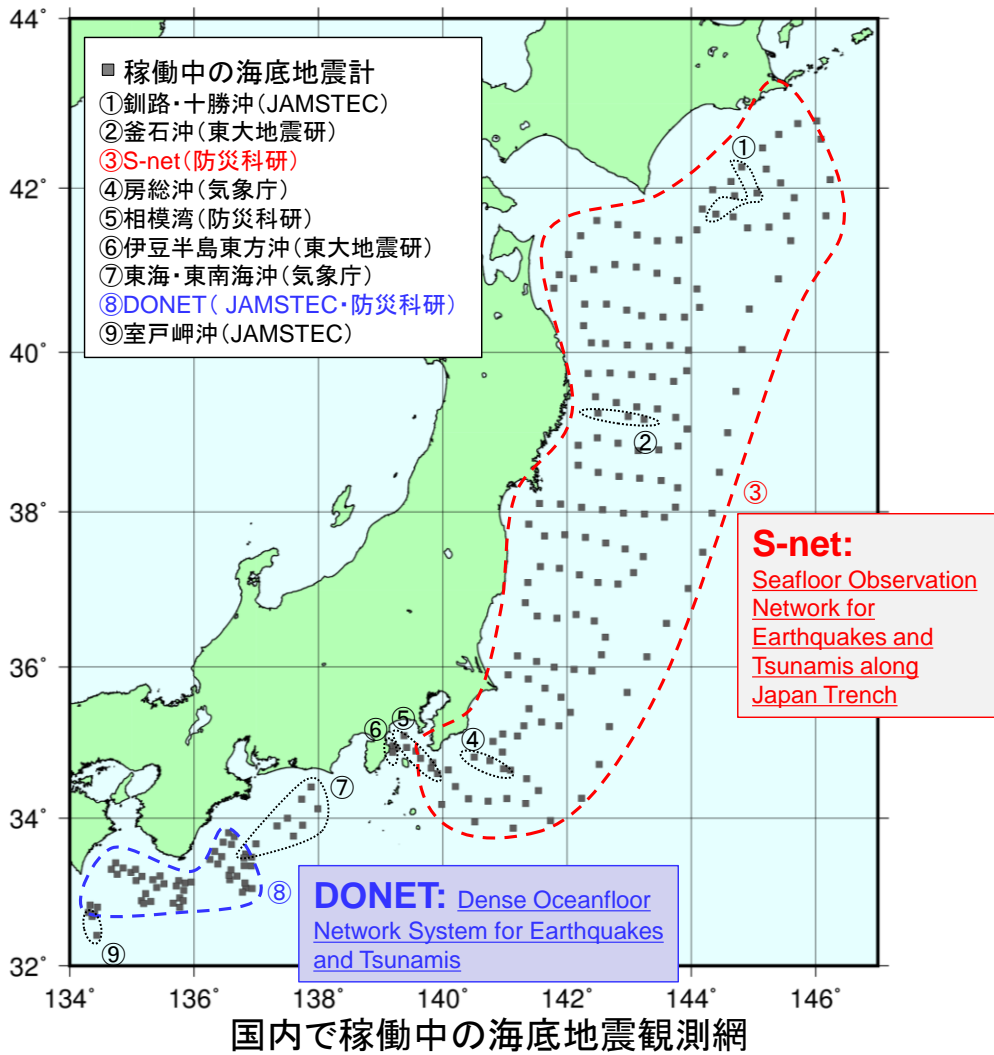
海底に設置された地震観測網（S-net[日本海溝海域]およびDONET[南海トラフ海域]:国立研究開発法人防災科学技術研究所により運用）のデータを鉄道事業者が直接使用することで、従来の陸上の地震計データのみを使用していた場合と比べて、より早い警報を発報することができます。



従来型の地震防災システムと海底地震計の概念図

## 【用途】

鉄道事業者の地震防災システムに組み込むことにより、列車をより早く停止させます。



海底地震計データ活用のシステム概要図

本研究は、国立研究開発法人防災科学技術研究所および国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)との共同研究で実施しました。

【実施例】

鉄道事業者の地震防災システムに導入され、稼働しています。

担当 鉄道地震工学研究センター(地震解析)